教えて先生!

健康講座

今月のテーマ

日常生活に支障をきたす多汗症!

今月の先生紹介

坂 義経(ばん よしつね) 氏
本巣郡
きらり皮フ科クリニック
院長

原発性腋窩多汗症とは

私たちの汗は緊張したり、ストレスを感じたりすると出ることもありますが、本来は体温を調節することが主な役割です。暑かったり運動したりして体温が上昇すると汗が出て、皮膚の上で蒸発することによって体の熱を奪って冷却しています。一方で明らかな原因がないのに、6ヶ月以上にわたって手のひらや脇などの特定の部位に集中して過剰に汗がでるものを「原発性局所多汗症」といい、特に脇に汗が出るものを「原発性腋窩(えきか)多汗症」といいます。

日本ではおよそ20人に1人がかかる、決して珍しくない病気で、多くの方が自分の汗で悩んでいると思われます。また、原発性腋窩多汗症は10代から50代を中心に幅広い年代にみられます。

診断基準 原発性腋窩多汗症

多汗症の診断は、汗の量だけではなく、どれくらい汗で困っているかも目安となります。
過剰なわき汗が、特定の原因がないまま6ヵ月以上認められ、以下の項目のうち2つ以上あてはまる場合に、診断されます。

① 脇汗が気になり始めたのは25歳以下のとき、または現在25歳以下である。

② 汗がでるのは両脇である。

③ 寝ているときは汗が止まっている。

④ 1週間に1回以上、過剰なわき汗で困ることがある。

⑤ 家族にも同じ病気の人がいる。

⑥ 好きな服が着れない、仕事に集中できないなど、日常生活で困ることがある。

新しい塗り薬が発売

皮膚科での原発性腋窩多汗症の治療では、まず塗り薬を使用します。従来からあるのは、塩化アルミニウムを含む制汗剤を、手のひらや脇の下などに塗る方法です。塩化アルミニウムには、汗の成分と結びついて、汗の出口をふさぐ効果があります。ただ、今までは保険適応になっている薬がありませんでした。

しかし、近年では保険適応の新しい外用剤が処方出来るようになりました。発汗を促す神経伝達物質「アセチルコリン」が汗腺の受容体に結合するのをブロックすることによって発汗を抑制します。1日1回毎日の使用で、わき汗を抑える作用があり、汗の量や汗による日常生活の悩みを減らすことが期待できます。日常使いに便利なジェルタイプや持ち運びに便利なシートタイプの2種類があります。

汗の悩みは皮膚科で相談を

脇の汗で悩んでいる患者さんたちが、治療を開始してから「白い服がストレスなく着られるようになった」「汗を気にせず人前に出られるようになった」などQOLの改善報告が多数寄せられています。アンケート調査によると、悩んでいても、実際に受診した人の割合は約1割との調査結果が出ています。

少しでも汗で悩んでいる人がいましたら、気軽に皮膚科などへご相談下さい。

わたしのひとこと

□□□